

スマート農業実証プロジェクトにおけるドローンの活用について

- 近年、技術発展の著しいロボット・AI・IoT等の先端技術について、生産現場に導入・実証することで「スマート農業」の社会実装を加速化することを目的としたスマート農業実証プロジェクトは、全国で148地区（R元年度採択 69地区、R2年度採択 55地区、R2年度補正採択 24地区）で取り組まれている。
- 約5割に当たる77地区において、ドローンを活用した取組（農薬散布・肥料散布、センシング）が行われている。
- ★各取組の詳細はこちらから：http://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/smart_agri_pro.htm →



ドローンを活用した取組を行っている実証農場

スマート農業実証関連事業 採択地区のうちドローン導入地区

(主な実証農場)

- 水田作 ● 水田作 (大規模) ● 水田作 (中山間) ● 水田作 (輸出用)
- ◆ 畑作 ◆ 露地野菜 ◆ 施設園芸 ◆ 果樹
- ▲ 茶 ▲ 畜産 ▲ 5G



主な取組内容

農薬散布や肥料散布、センシングによる、作業時間の軽減や生産性向上の実証を目的として取組が行われている。

区分	ドローンの取組件数		
	農薬散布	肥料散布	センシング
水田作 (R2年度)	6	5	3
水田作 (大規模)	12	9	2
水田作 (中山間)	12	10	4
水田作 (輸出用米)	4	2	2
畑作	14	12	4
露地野菜	15	8	4
果樹	9	6	2
茶	2	-	2
畜産	1	-	1
5G	2	-	2
合計	77	52	57

※ 複数の取組を行っている地区もあるため、合計数は一致しない。